

・吉田珠代 (ソプラノ) Yoshida Tamayo (Soprano)

愛知県立芸大卒業及び同大学院修了。新国立劇場オペラ研修生として3年間在籍。2006年文化庁新進芸術家留学生としてイタリア・ボローニャに留学。仏・リムーザン音楽祭出演に続き、2010年オーストリア・シュタイヤー音楽祭にて「ドン・ジョヴァンニ」のドンナ・アンナ役で欧州オペラデビュー、「見事なオーラと歌唱で難役を演じ切った非の打ちどころのないソプラノ歌手」と各紙から絶賛された。ミュンヘンを経て現在ウィーン在住。

・清水華澄 (メゾ・ソプラノ) Shimizu Kasumi (Mezzosoprano)

国立音楽大学声楽科卒業、同大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第4期生修了。2009年新国立劇場『ワルキューレ』グリムゲルデ、『魔笛』侍女Ⅲ、『チェネレントラ』ティーズベでは、カサロヴァを始め豪華外人キャストとの共演の中で、存在感溢れる演唱で高い評価を得た。2010年7月、新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室『カルメン』に、急遽タイトルロールで出演し、絶賛を博した。2011年12月新国立劇場『ルサルカ』に第三の森の精役で出演予定。二期会会員

・中川正崇 (テノール) Nakagawa Masataka (Tenor)

大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業。同大学大学院音楽研究科声楽専攻オペラ研究室修了。新国立劇場オペラ研修所第8期修了。西垣俊朗、渡邊弓子、セルジョ・ベルトッキの各氏に師事。オペラ研修所では、『アルバート・ヘリング』にタイトル・ロールで出演。『ドン・ジョヴァンニ』のオッターヴィオや『ドン・パスクワーレ』のエルネスト、第九やロッシーニのスターバトマーテルのソリストも務める。二期会会員。

・駒田敏章 (バリトン) Komada Toshiaki (Baritone)

愛知県出身。愛知教育大学を経て、東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士課程修了。新国立劇場オペラ研修所第11期生。

台東区民合唱団ベーターヴェン『第九』、文京シビック合唱団ハイドン『四季』、千葉県文化会館主催ハイドン『天地創造』等のソリストとして出演。芸大創立120周年企画グリーグ『ペール・ギュント』全曲演奏会ではペール役を演じる。

・高田絢子 (ピアノ) Takada Ayako (piano)

国立音楽大学大学院伴奏 (歌曲) コース修了。ピアノを奥村京子、小林光裕、芝治子、安井耕一の各氏に師事。伴奏法を河原忠之氏に師事。作曲を溝上日出夫氏に師事。